

平成23年度 市政懇談会



安心・安全の確保

問 原子力自体が人類と共存できないと聞いたことがあ
る。南丹市として、原子力発電
の継続に賛成しているのか。

〔園部公民館〕

答 さまざまな意見があるこ
とも知っていますが、エネ
ルギー政策は、国が責任をもつ
て、早急に国民に示さなければ
ならない事項だと思っていま
す。市としては、国の動向を見
守りながら、市民の皆さんに安
心していただくため、原発事故
に関する防災計画をできるだけ
早く策定し、万一の場合の対策
を万全にしていかなければなら
ないと考えています。

問 原子力発電所の事故などに
際して、関西電力と協定を
結ぶなど、南丹市として関西電
力に対してどのような対応をし
ていくのか。

〔美山知井会館〕

答 関西電力と早期に連絡がと
れる体制、情報を提供いた

だけの体制、きっちり話し合
いができる体制など、国の計
画、京都府の計画、市の計画が
整合性を持った形の中で、さま
ざまな対応ができる関係を構築
していきたいと思っています。

問 報道によると、震災がれき
を受け入れると表明された
が、その後受け入れをしないと
いうことを決定された。震災が
れきの受け入れについて、もう
一度考えてほしい。

〔園部公民館〕

答 当初、南丹市を含め複数の
市町村が、震災がれきを受
け入れるという報道がされまし
た。発端となった京都府の調査
は、どれぐらいの量が受け入れ
られるかという問い合わせで、
受け入れの可否を確認するもの
ではありませんでした。しか
し、受け入れるという報道がさ
れたため、誤解を解いていただ
くようお願いしたところ、今度
は受け入れをしないという報道
がされました。廃棄物の処理は
原則当該市町村で行わなければ
なりません。しかし、施設など
の問題で処理を依頼された場合
は、搬入される廃棄物の量はも

ちろん、安全性の確認、運搬す
る車両の特定、搬入回数などを
明確にし、現地において現物を
確認した上で、問題がなければ
受け取るという対応を、現状で
はしています。もしも震災がれ
きについて申し出があれば、そ
のような手続きを踏むことにな
りますが、がれきの輸送経費を
考えると、現実としては無理で
はないかという思いを持ってい
ます。

問 避難所となっている公民館
が、危険地域に入ってい
る場合、何か補助金はあるの
か。

〔氷室の郷〕

答 指定した避難場所が適切で
ない場合は、別の場所を指
定することになります。避難路
の問題もあるので、地元で協
議いただき、調整をさせていただ
いた上で変更することに問題
はありません。公民館の建て替
えについては、自治振興補助金
の活用が考えられます。具体的
な内容をご相談いただき、より
良い方法を考えていきたいと思
います。